

広報 PUBLIC INFORMATION OF YUASA



2018

10

October

Vol.527

# ゆあさ

— 今に繋ぐ伝統のカタチ —





■三面獅子が見れる秋祭り・國津神社（田） 10月15日 幸神社（栖原） 10月16日 顯國神社（湯浅） 10月21日



1



3



2

1 國津神社三面獅子舞（田）  
2 幸神社三面獅子舞（栖原）  
3 顯國神社の三面獅子（湯浅）



▲紀伊国名所図会「湯浅祭礼神輿渡御の図」

顯國神社の三面獅子は、江戸時代末期の『紀伊国名所図会』にその姿が描かれており、多くの人々に親しまれている様子がわかります。鼻の高い面の「オニ」、牙の生えた鬼面の「ワニ」、そして魔物の『獅子』が登場します。このような形態は紀州独特のものです。



オニ

ワニ



③起きた『獅子』は、「オニ」と「ワニ」に付き従って、太鼓の早打ちにあわせて駆け出して退場していきます。

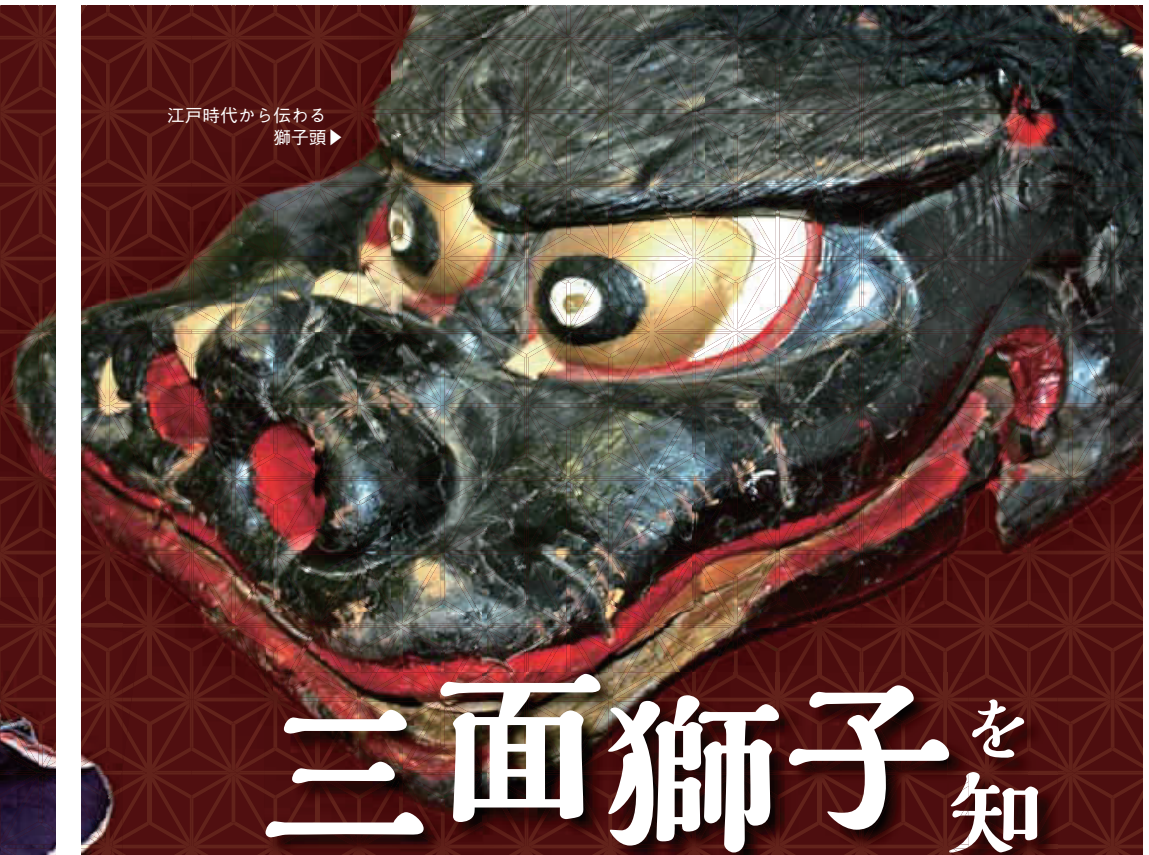


⑤「オニ」が寝ている『獅子』に近づき、『獅子』の頭をシデで叩いて起こします。



④寝る『獅子』をはさんで、「オニ」と「ワニ」は激しく踊ります。

江戸時代から伝わる  
獅子頭▶



# 三面獅子を知ろう

湯浅町には、湯浅の顯國神社、田の國津神社、栖原の幸神社に、「三面」と呼ばれる民俗芸能の獅子舞が、それぞれ受け継がれています。三面獅子は、秋の祭礼の際などに披露されています。中でも、「顯國神社の三面獅子」は和歌山県指定無形民俗文化財に指定されています。



⑥「オニ」が腰を低く下し銚子を持って『獅子』を凝視し続けると、『獅子』は頭を左右に振りながら少しずつ体勢を落としていき、やがて頭を地面につけて寝てしまいます。



②「オニ」が手に持っている銚子を地面に突き立てると、『獅子』はバクバクと歯を鳴らし激しく暴れます。



①太鼓にあわせて演技が始まると、踊る「オニ」と「ワニ」に対して『獅子』は威嚇をする動作をします。

顯國神社の三面獅子の所作